

# ファシリテーション / 会議の基本 研修のご紹介

- facilitation training -

高収益企業のビジネスプラットフォームである、ファシリテーション技術を習得するためのトレーニングコースです。



## ファシリテーションが注目される背景

最近「ファシリテーション」が注目されています。ファシリテーションとは、「会議のプロセスをマネジメントすることで、スピーディな合意形成を図り、質の高いアウトプットを出すこと」です。日本において「ファシリテーション」として注目されるようになったのは最近のことですが、考え方そのものは昔からあり、実際にファシリテーター（ファシリテーションを行う人）的な行動をとる人材が組織内で活躍してきました。

「この人がいれば、新しいアイデアがどんどん出る、議論がまとまる、検討が先に進む……」。どんな組織にもこういう人がいるはず。みんなの話をうまく整理し、会議の方向づけを行って結論にもっていきまとめ役が、つまりはファシリテーターです。

昔からあった人の行動に対して、あらためて「ファシリテーション」というラベルが付けられたのは、企業社会において次のような傾向が顕著になってきたからだと考えます。

### <意思決定の重要性>

ひとつは、企業間競争の勝敗を決める要素として、意思決定の質がますます重要になってきていることです。ここで言う意思決定は、トップのそれだけを指すではありません。トップの決定を実行するには、その過程において役員会での意思決定をはじめ、ミドルマネジャー・クラスでの意思決定、部課単位で展開される日々の行動のための意思決定が必要です。

そしてこれらの意思決定の多くは、会議で行われています。優れた意思決定を下し、それを実行できるのは、優れた会議を行っているからにほかならないのです。勝者と敗者を分けるのは、実は会議の巧拙の差であるといっても過言ではありません。

### <優秀な人材の獲得と維持>

ここ数年、所得格差の拡大が注目されているようです。こうした格差競争で勝ち残るため、転職にチャレンジする人の多くは「プロ人材」を目指しています。彼らは、やりがいの感じられる仕事を通じて自己の能力を向上させ、より高度でやりがいのある仕事を求める、というステップアップを重視します。そのため、能力を発揮できる環境に対しては、実にシビアな目で判断します。

そんな彼らが、時間の無駄でしかないダメ会議を目にしたらどうなるでしょうか。ダメ会議が常態化しているような会社で、自分の能力を発揮できるとは到底思わないでしょう。プロ人材の忠誠心の対象は会社ではなく、仕事そのものです。さっさと会社に見切りをつけ、次のチャレンジを求めて去っていくことになるでしょう。

### <コラボレーション社会>

3 つめは、他社とのコラボレーション（協業）を前提にして、ビジネスが動くようになってきていることです。他社とのコラボレーションをうまく進めるには、文化の違いを克服しなければなりません。同じ言葉でも、違った意味で使っていたり、自社では当たり前のことが他社では特別なことだったり、といった経験をだれもがするものです。だからこそ、「知的作業のルール」が必要になってきます。文化の違いに配慮しながら、共通の目的に向かって合理的にプロジェクトを進めていくためのルールをつくり、共有しておかねばなりません。なかでも、最重要となるのが会議の技術である。効率的・効果的な会議を行えない相手と付き合うと、自社の「時間コスト」がどんどんかさんでいきます。そういう迷惑な会社は、ビジネスの第一線から徐々に排除されるようになる可能性が高いのです。

# 知識工房の実践型ファシリテーション研修

そこで、弊社は高収益企業の間ではもはや仕事のプラットフォームとなりつつあるファシリテーション技術を、日常の会議や、重要な意思決定の場面で本当に使えるようになるための、実践演習を開発しました。

この実践演習は、弊社代表の著作eLearningでも紹介されたGBS(Goal Based Scenario)のコンセプトに基づき、開発されています。

GBSとは、知識を知識として記憶するのではなく、自分にメリットのあるゴールを達成する過程で、不足する知識に気づき、ゴール達成のためにそれを自然に身につけてもらう、という認知心理学の研究に基づいた学習方法論です。

## 関連書籍 / テキストのご紹介

弊社のファシリテーション / 会議の技術に関する考え方は、新聞・雑誌・書籍等で頻繁にとり上げられています、



- 高収益企業が実践している会議技術を一般化し、「型」として企業で取り入れられる形にまとめました。



- 左記「会議の教科書」のエッセンスを、日経産業新聞記者の方に取材していただいた内容です。



- 会議における「可視化」の重要性とその効果を、脳の鍛え方と絡めて解説しています。



- 特に、SE(システム・エンジニア)の方々が、要件定義から開発に至るまでのプロセスで、どのように会議を行うべきかをまとめました。

## 料金表とコース概要

【ファシリテーション / 会議の基本研修(8時間コース)】

講師料
420,000円
参加者1名あたり
21,000円

\*教材費を含みます

((午前)) 1. Ice Breaking Session (ウォーミングアップ)

- 会議運営のポイント
- 2-1. 会議運営の全体像
- 2-2. PLAN/DO/SEE

((午後)) 3. 個人演習 : 板書力を高める

4. 個人演習 : 質問力を高める
5. グループ演習 : を検討する
6. グループ演習 : の計画を立てる
7. グループ演習 : 仕上げ-テーマから決めて議論する
8. まとめと振り返り

( 、 の内容は、受講者のレベルと職務に合わせてバリエーションをご用意しております)

## お問い合わせ

知識工房は、ワークスタイル・イノベーションを実現するため、「サクセス・インストーラ(Success Installer: 成功の導入屋)」として、大手コンサルティング会社やシンクタンク、ITベンダーとは一線を画した、オリジナリティ溢れる高品質なサービスを提供します。

株式会社 知識工房  
〒105-0004 東京都港区新橋5-9-6 松治ビル3F  
TEL: 03-5777-4601、FAX: 5777-4602

<http://www.successinstaller.com/>  
[info@successinstaller.com](mailto:info@successinstaller.com)  
担当: 丸尾・前川

